

同時資料提供

大阪科学・大学記者クラブ
大阪教育記者クラブ
南大阪記者クラブ
関西レジャー記者クラブ

大阪市立自然史博物館 第50回特別展
「知るからはじめる外来生物 ～未来へつなぐ地域の自然～」
(プレスリリース第二報)

大阪市立自然史博物館では、令和2年3月1日(日)から5月31日(日)まで、特別展「知るからはじめる外来生物 ～未来へつなぐ地域の自然～」を開催します。



外来生物は、今では私たちの身の回りのあちこちにいます。それらをすべて駆除するのは現実的ではありませんし、身の回りの生態系自体を破壊してしまいかねません。一方で、駆除は可哀想と放置するのも責任のある態度とは言えません。外来生物にどう対応し、付き合っていくか。生物多様性の保全という立場から、地域の自然をどのように未来に残していくか。そのためには、まず外来生物についての正確な知識と現状の把握が必要です。この特別展では、多くの人がきちんと外来生物問題を考えられるようになることを目指して、外来生物問題についての基礎知識と、大阪や日本における外来生物の現状を紹介します。

本プレスリリース(第二報)では、展示物のご紹介と関連行事をご案内いたします。

I. 開催概要

1. 名称 特別展「知るからはじめる外来生物 ～未来へつなぐ地域の自然～」
2. 主催 大阪市立自然史博物館
3. 会期 令和2年3月1日(日)～5月31日(日)
※開館時間:9:30～17:00(入館は16:30まで)
4. 休館日 月曜日(休日の場合はその翌平日)
5. 会場 大阪市立自然史博物館 ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2階)
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23
TEL:06-6697-6221 FAX:06-6697-6225
HP:<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>
地下鉄御堂筋線「長居」駅下車3号出口・東へ800m
JR阪和線「長居」駅下車東出口・東へ1000m
6. 観覧料 大人500円、高校生・大学生 300円
期間内特別展フリーパス 大人1000円、高大生600円
※本館(常設展)とのセット券は、大人700円、高大生400円。
※中学生以下、障がい者手帳など持参者(介護者1名を含む)、大阪市内在住の65歳以上の方は無料(要証明)。30人以上の団体割引あり。
※本館(常設展)、長居植物園への入場は別途料金が必要です(セット券を除く)。
7. 後援 大阪府教育委員会、大阪市教育委員会

○プレス内覧会を、開幕前日の令和2年2月29日(土)午後0時30分より、自然史博物館 本館 集会室および特別展会場で行います。プレス内覧会取材申込書にて前日までにファックスでお申込みください。なお、一般内覧会も午後2時より引き続いて行います。

○広報用画像、読者・視聴者プレゼント用の招待券をご用意しています。広報用画像申込書、招待券申込書もファックスでお申込みください。

II. 新しく加わった主な展示の広報用資料・画像

(掲載の画像は広報目的でのみご利用いただけます)

クニマス ※京都大学総合博物館所蔵

絶滅したと思われていましたが、10年ほど前に再発見された魚です。もともとの生息地であった秋田県田沢湖では絶滅し、山梨県西湖などの移植先でのみ生き残っていることが分かりました。西湖のクニマスは、非常に希少な生物であると同時に、人が持ち込んだ外来生物なのです。



写真① チャネルキャットフィッシュ

「アメリカナマズ」の名でも知られる北アメリカ原産の魚で、特定外来生物に指定されています。持ち込まれた先々で魚などを食い荒らし、在来生態系や漁業に被害をもたらしています。大阪では、今後、淀川で急増すると予想されています。



写真② ナイルパーチ ※滋賀県立琵琶湖博物館所蔵

ナイルパーチは、アフリカの熱帯域に生息するアカメに似た魚で、大きいもので2mにもなります。アフリカのヴィクトリア湖に導入され爆発的に増加し、多数の固有種を絶滅させました。



写真③ グッピー

南アメリカ原産の魚で、多くの飼育品種が日本国内で流通しています。寒いところが苦手な魚ですが、大阪府でも一部の場所で定着しています。大阪市の長居植物園で採集された生きたグッピーを水槽で展示する予定です。



写真④ チュウゴクモクズガニ（上海蟹）

高級食材の「上海蟹」として知られる中国原産のチュウゴクモクズガニは、アメリカやヨーロッパの河川に侵入しています。巣穴を掘って堤防を弱らせたり、餌が競合する在来の水生生物を減少させたりする被害があり、世界の侵略的外来種ワースト100に挙げられています。日本では定着していませんが、世界的な被害や在来のモクズガニと交配する可能性などを踏まえ、特定外来生物に指定されています。食材としては生きたまま輸入されるため、国内の流通業者は外来生物法に基づく飼養許可が必要です。



写真⑤ ヨシススキ

道路沿いに見られることがあり、緑化に用いられた国外産のススキ種子等に混じって侵入したと考えられています。増加するとヨシススキだけの群落をつくってしまうため問題視されています。写真の人物（175cm）と比較してもとにかく大きい。

知るから始める外来生物

第50回特別展

Gettting to Know Invasive Species for the Future of Our Local Environment

令和2年3月1日(日)～5月31日(日)

どっちが外来生物？
確かめよう！

【お前もかーい！ 外来生物】
サザリ、クマノシ、タンポポ、ドジョウなど、子どもの頃から、身の回り普通にいて、元々日本にいた生き物だと思ってたのに、実は外来生物というものを紹介し直します。

【日本の外来生物】
日本から海外に運ばれて外来生物問題を引き起こしている生き物もいます。ワカメ、メダカなど、日本の外来生物を紹介し直します。

【海外の最高級の上で、今もなおメダカが絶滅危惧種】
小笠原は外来生物対策の先進地域です。ここを学ぶことで、外来生物問題の特定地域の紹介や関心を持ってもらいます。
■3月14日(土) 13時30分～15時30分
■会場：川上正史(環境総合研究所)

【知っておきたい国内外来魚種】
一竿で魚を釣ったアサギのすずり(すずり)日本の本邦の自然史にまで遡っているのでもう一つ、最近の現実で明らかになった淡水魚の多様性と危機についてお話しします。
■3月16日(土) 13時～14時30分
■講師：向井真由氏(岐阜大学)
■会場：自然史博物館 講堂

【お前もかーい！ 外来生物】
サザリ、クマノシ、タンポポ、ドジョウなど、子どもの頃から、身の回り普通にいて、元々日本にいた生き物だと思ってたのに、実は外来生物というものを紹介し直します。

【日本の外来生物】
日本から海外に運ばれて外来生物問題を引き起こしている生き物もいます。ワカメ、メダカなど、日本の外来生物を紹介し直します。

【お前もかーい！ 外来生物】
サザリ、クマノシ、タンポポ、ドジョウなど、子どもの頃から、身の回り普通にいて、元々日本にいた生き物だと思ってたのに、実は外来生物というものを紹介し直します。

【日本の外来生物】
日本から海外に運ばれて外来生物問題を引き起こしている生き物もいます。ワカメ、メダカなど、日本の外来生物を紹介し直します。

写真提供：1. 池元実希、2. 須野修、3. 池田(大阪府立環境緑地生態学部の研究員)

Osaka Museum of Natural History
大阪市立自然史博物館
ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2階)
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23 TEL:06-6697-6221
http://www.mus-nh.city.osaka.jp/

●開館時間：午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
●休館日：月曜日(ただし5月4日は開館)、5月7日
●主催：大阪市立自然史博物館
●協賛：大阪府教育委員会、大阪市教育委員会

画像⑥ チラシ 表面

知るから始める外来生物 Getting to Know Invasive Species for the Future of Our Local Environment

外来生物は、今では私たちの身の回りのあちこちにいます。それをすべて駆除するのは現実的ではありません。身の回りの生態系自体を破壊してしまいかねません。一方で、駆除は可成り想像と異なるのも責任のある態度とは言えません。外来生物にどう対応し、付き合っていくか。生物多様性の保全という立場から、地域の自然をどのように未来に残していくか。そのためには、まず外来生物についての正確な知識と現状の把握が必要です。この特別展では、多くの人がきちんと外来生物問題を考えられるようになることを目指して、外来生物問題についての基礎知識と、大阪や日本における外来生物の現状を紹介します。

主要な展示物

<p>【外来生物調査プロジェクトProject A(Alien species)の成果発表】 2015年から2019年まで市民参加型の外来生物調査として大阪府を中心にさまざまな外来生物の分布調査を行いました。その成果である分布図を中心に、大阪府内約100の外来生物を紹介し直します。</p> <p>ササリ/イラクソウ</p>	<p>【引用された池田の外来生物】 外来生物にだけ注目してしまわずに淡水魚類、アマガシやチヌキカサネ、フナなどといった外来魚、カサネガメなどのヤマト由来のカサ、アザラシなども紹介し直します。</p> <p>スズリ/メダカ</p>	<p>【魚の外来生物】 小笠原諸島のグリーンノール、奄美大島や沖縄島のマンブー、石垣島のインクジャックなど、日本各地の魚ではどんな外来生物問題が起きているでしょうか。</p> <p>カサネガメ</p>
<p>【お前もかーい！ 外来生物】 サザリ、クマノシ、タンポポ、ドジョウなど、子どもの頃から、身の回り普通にいて、元々日本にいた生き物だと思ってたのに、実は外来生物というものを紹介し直します。</p>	<p>【日本の外来生物】 日本から海外に運ばれて外来生物問題を引き起こしている生き物もいます。ワカメ、メダカなど、日本の外来生物を紹介し直します。</p>	<p>【お前もかーい！ 外来生物】 サザリ、クマノシ、タンポポ、ドジョウなど、子どもの頃から、身の回り普通にいて、元々日本にいた生き物だと思ってたのに、実は外来生物というものを紹介し直します。</p>

開催イベント

全てのイベントは申し込み不要でも参加できます。
詳しくは自然史博物館ホームページをご覧ください。

講演会

【魚の最高級の上で、今もなおメダカが絶滅危惧種】
小笠原は外来生物対策の先進地域です。ここを学ぶことで、外来生物問題の特定地域の紹介や関心を持ってもらいます。
■3月14日(土) 13時30分～15時30分
■会場：川上正史(環境総合研究所)

【知っておきたい国内外来魚種】
一竿で魚を釣ったアサギのすずり(すずり)日本の本邦の自然史にまで遡っているのでもう一つ、最近の現実で明らかになった淡水魚の多様性と危機についてお話しします。
■3月16日(土) 13時～14時30分
■講師：向井真由氏(岐阜大学)
■会場：自然史博物館 講堂

※参加には特別観覧券購入が必要です。

子どもワークショップ

特別展で一番やさいい子ども向け行事。スタッフやボランティアと一緒に、展示を見ながら、観察や観察が、スリッパをいっしょに外来生物(お前もかーい)をさがしてみよう。
■3月21日(土)、22日(日)
4日(土)、5日(日)
5日(日)休館、6日(休)
■会場：特別観覧券内

ゼミナールトーク

学芸員が紹介をします。
■3月14日(土)～5月30日(土)の毎週土曜日 12時30分～13時
■会場：特別観覧券内

Osaka Museum of Natural History
大阪市立自然史博物館
ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2階)
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23 TEL:06-6697-6221
http://www.mus-nh.city.osaka.jp/

●会期：令和2年3月1日(日)～5月31日(日)
●開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
●休館日：月曜日(ただし5月4日は開館)、5月7日
●観覧料：大5,000円/高校生・大学生 3,000円/中学生以下無料
●特別観覧券：特別観覧券(特別観覧券)1,000円/高校生以下無料
●特別観覧券：特別観覧券(特別観覧券)1,000円/高校生以下無料
●特別観覧券：特別観覧券(特別観覧券)1,000円/高校生以下無料
●特別観覧券：特別観覧券(特別観覧券)1,000円/高校生以下無料
●特別観覧券：特別観覧券(特別観覧券)1,000円/高校生以下無料
●特別観覧券：特別観覧券(特別観覧券)1,000円/高校生以下無料

会場：館内

画像⑦ チラシ 裏面

Ⅲ. 特別展関連行事

特別展の展示について理解を深め、より楽しめる行事です。

申込不要・参加費無料(ただし、講堂・集会室は博物館入館料が、特別展会場は特別展観覧料が必要)で、どなたでも参加できます。

【特別展記念講演会】

■知っておきたい国内外来魚問題 —なんで魚を放流したらアカンのですか?—

日本の本来の自然はどこまで残っているのでしょうか? 最近の研究で明らかになった淡水魚の多様性とその危機についてお話しします。

日 時 5月16日(土)13時~14時30分

会 場 自然史博物館本館 講堂

講 師 向井貴彦氏(岐阜大学)

【オープンセミナー】

■市民参加調査でわかった大阪の外来生物(前編)

博物館では2015年から2019年まで、市民の皆さんと一緒に大阪とその近郊の外来生物の分布調査を行いました。今回は、淡水の魚類、貝類、動物を中心に、わかったことや問題点についてお話しします。

日 時 4月18日(土)13時~15時

会 場 自然史博物館 集会室

講 師 松井彰子、石田 惣、和田 岳(動物研究室)

■講演会「外来植物を知ろう!」+市民参加調査でわかった大阪の外来生物(後編)

「外来植物を知ろう!—困りものの種から、珍しい種まで—」というタイトルで稗田真也氏(滋賀県立大学)に外来植物の問題点等について講演していただきます。あらゆる場所に外来植物は侵入しています。特に問題になっているオオバナミズキンバイを中心に、まだあまり知られていない種も含めて色々な外来植物を紹介します。

また、博物館では2015年から2019年まで、市民の皆さんと一緒に大阪とその近郊の外来生物の分布調査を行いました。今回は植物、昆虫に関して、わかったことや問題点についてお話しします。

日 時 5月9日(土)13時~15時頃

会 場 自然史博物館 講堂

講 師 稗田真也氏(滋賀県立大学)、長谷川匡弘(植物研究室)、松本吏樹郎(昆虫研究室)

【ギャラリートーク】

学芸員が、それぞれの専門分野の展示を中心に解説します。

※会場混雑時には、やむなく中止となる場合がありますのでご了承ください。

日 時 3月7日(土)～5月30日(土)の毎週土曜日 12時30分～13時

担 当 3月21日(土)【無脊椎動物】、3月28日(土)【魚類】、4月4日(土)【鳥類】、
4月11日(土)【植物】、4月18日(土)【無脊椎動物】、4月25日(土)【昆虫】、
5月2日(土)【魚類】、5月9日(土)【植物】、5月16日(土)【哺乳類】、
5月23日(土)【昆虫】、5月30日(土)【無脊椎動物】

会 場 特別展会場(自然史博物館 ネイチャーホール)

【子どもワークショップ】

■おしえて！さかなハカセ

「外来生物」ってことばを、きいたことがある？ほかのばしょから、人がはこんだ生きもののことだよ。みんなのまわりには、「外来生物」がいっぱい。

日本の生きものだと思っていた ドジョウ、メダカに、最近「へんなこと」がおこっているらしい…。博物館のさかなハカセといっしょに、じっくりお話してみよう。

日 時 4月25日(土)・26日(日)、5月30日(土)・31日(日)

11時～、13時30分～、15時～(約50分のプログラムです)

対 象 小学生以上(定員に余裕がある場合は小学生未満も参加可能)

定 員 各回15名

会 場 特別展会場(自然史博物館 ネイチャーホール)

受 付 当日受付(各回10分前より受付を開始します)

■いきもの そっくりさんカルタ

公園や学校、おうちのまわりには、どんないきものが くらしてるんだろう。

むし、はな、どうぶつ…。むかしから 日本にいたのかな？人がつれてきたのも いるんだって。どこがちがうの、なにが にているのかな？カルタあそびをしながら、くらべっこして見てみよう。

日 時 3月21日(土)・22日(日)、4月4日(土)・5日(日)、5月5日(火祝)・6日(水祝)

11時～、13時～、14時～、15時～(約40分のプログラムです)

対 象 どなたでも(小学生未満は保護者同伴)

定 員 各回15名

会 場 特別展会場(自然史博物館 ネイチャーホール)

受 付 当日受付(各回10分前より受付を開始します)

IV. ブロガーの皆様ご招待について

特別展の広報に協力して頂けるブロガーの方20名を、3月7日（土）～3月15日（日）の間、無料でご招待いたします。

○期間

令和2年3月7日（土）～3月15日（日） 午前9 時30 分から午後5 時まで（入場は随時、最終入館は午後4 時30分まで）

○会場

大阪市立自然史博物館 ネイチャーホール（花と緑と自然の情報センター 2階）

○参加頂ける方

以下の2 つの条件を両方とも満たす方

- ①ご自身でブログを開設されていること
- ②ご自身のブログに特別展の紹介記事を必ずお書きいただけること

○申込

電子メールに「特別展ブロガー招待申込み」と明記、名前、居住地の都道府県名、電子メールアドレス、ブログタイトル、ブログURL を書いて、令和2年3月1日（日）までに届くように自然史博物館 総務課宛にお申込みください。令和2年3月2日（月）に抽選を行い、結果を申込者全員に電子メールにて返信いたします。当選者のみ参加方法等の詳細を合わせてお知らせいたします。

○その他

当日参加はできません。必ず申込みをしてください。

○問合せ／申込先

大阪市立自然史博物館 総務課 電話：06-6697-6221 メール：s-nyukansha@ocm.osaka



F A X . 0 6 - 6 6 9 7 - 6 2 2 5

<FAX送信>

送信先：大阪市立自然史博物館
総務課 広報 宛
TEL.06-6697-6222 FAX.06-6697-6225
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23

「知るからはじめる外来生物 ～未来へつなぐ地域の自然～」 プレス内覧会 取材申込書

プレス内覧会における取材をご希望される方は、下記該当箇所をご記入の上、総務課広報宛にFAXにてご返信ください。

■ プレス内覧会

〔日時〕 令和2年2月29日（土）
午後0時30分～

〔会場〕 大阪市立自然史博物館
本館 集会室 および 特別展会場

- ※博物館通用口からお越しください。
- ※プレス内覧会に引き続き、午後2時より一般内覧会も開催いたします。



博物館通用口

貴社名	
媒体名	
所属部署／ご担当者名	
人数（カメラ含む）	
ご住所	〒
ご連絡先	電話： メール： F A X :



F A X . 0 6 - 6 6 9 7 - 6 2 2 5

<FAX送信>

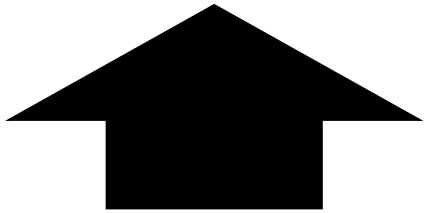
送信先：大阪市立自然史博物館
総務課 広報 宛
TEL.06-6697-6222 FAX.06-6697-6225
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園1-23

「知るからはじめる外来生物 ～未来へつなぐ地域の自然～」
取材申請・招待券 申込書

会期中、会場内における取材を希望される方は、下記該当箇所をご記入の上、原則、取材の3日前までにFAXにてお送りください。なお撮影時間につきましては、会場の混雑状況などにより、事前に調整させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

また、貴媒体内での読者・視聴者プレゼントに限り、特別展の招待券を10組20名様分、ご提供させていただきます。なお、掲載媒体を1部（掲載紙・誌、CD-ROM、DVD-ROMなど）お送りいただき、それと引き換えに招待券をお送りさせていただいております。

貴社名	
媒体名	
所属部署／ご担当者名	
取材日時	令和2年 月 日 () : ~ :
人数 (カメラ含む)	
ご住所	〒
ご連絡先	電話 : FAX : メール :
掲載記事・放送番組名	
掲載日 (発行日) 放送日時	
招待券	希望する ・ 希望しない



F A X . 0 6 - 6 6 9 7 - 6 2 2 5

<FAX送信>

送信先：大阪市立自然史博物館
総務課 広報 宛
TEL.06-6697-6222 FAX.06-6697-6225
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園1-23

「知るからはじめる外来生物 ～未来へつなぐ地域の自然～」
広 報 用 画 像 申 込 書

- ・ご希望の画像に○印をつけ、下記にご記入のうえ、ご返信ください。
- ・画像使用は本展のご紹介のみとさせていただきます。使用後は、データを破棄してください。（令和2年5月31日(日)まで使用可）
- ・掲載記事・番組内容については、基本情報確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で総務課広報宛までFAXまたはメールをお送りください。また、掲載媒体を1部、総務課宛にお送り下さい。

No.	画像名	No.	画像名
1	チャネルキャットフィッシュ	2	ナイルパーチ
3	グッピー	4	チュウゴクモクズガニ（上海蟹）
5	ヨシススキ	6	チラシ 表面
7	チラシ 裏面		

貴社名・媒体名	
掲載・放送予定日	
所属部署／ご担当者名	
ご住所	〒
連絡先	電話： メール： F A X：